

2021年2月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 錦澤 滋雄

パプアニューギニア国トクア空港整備事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2021年1月15日(金) 14:00~17:30
- ・場所：オンライン会議 (Teams)
- ・ワーキンググループ委員：阿部委員、石田委員、錦澤委員、米田委員
- ・議題：パプアニューギニア国トクア空港整備事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【事前配布資料】 PNG 国トクア空港整備事業(協力準備調査(有償)) DFR
 - 2) 【SC 案助言対応表】 PNG 国トクア空港整備事業(協力準備調査(有償)) SC 案
 - 3) 【SC 案回答表】 PNG 国トクア空港整備事業(協力準備調査(有償)) SC 案
 - 4) 【EIA】 Environmental Permit Application for Tokua Airport June 2020
 - 5) 回答表及び当日説明資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第121回委員会)

- ・日時：2021年2月5日(金) 14:00~17:17
- ・場所：オンライン会議 (Teams)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 大規模自然災害にも備える空港であることを FR の調査の背景に記述すること。

環境配慮

2. Kabakaul 湾の沿岸生態系への影響評価を行い、必要に応じて緩和策まで含め FR に記述すること。
3. 空港拡張工事に伴い、空港運用から発生が増大することが想定される廃棄物に対応するため提案されている焼却処分について、その焼却施設の適切な維持管理と、焼却によって生じる焼却灰の処分を適切に実施する体制とそのために必要な人員や予算の確保を実施機関に申し入れること。また、焼却処分の前に、「エコエアポート」の呼称にふさわしい、廃棄物の発生抑制、再利用、リサイクルを推進する空港関連施設の運営を前提とするように実施機関に申し入れること。
4. 浄化槽及び焼却炉に関して、長期的に適切な維持管理が重要である点を FR に記述し、必要に応じて、それを支援する仕組みを検討すること。
5. 空港敷地内でオープンダンプしているエリアについて、工事中に土置き場として利用する際、土砂の流出等が起こらないよう適切に管理するとともに、工事終了後には原状回復させて、再度廃棄物を投棄しないよう実施機関に申し入れること。
6. 5 種の両生類のうちオオヒキガエル (cane toad) を除く地域の固有種である残りの 4 種に対する影響評価を行い、必要に応じて緩和策を含めて FR に記述すること。

社会配慮

7. トクア空港が自然災害発生時における地域防災拠点として機能する計画を FR に記述し先方政府にその旨を提案すること。

ステークホルダー協議・情報公開

8. 空港北側に居住するプランテーションに従事する労働者に対して、確実な情報提供・意見収集の機会を設けるため、その実施体制を FR に記述するとともに、その履行を実施機関に申し入れること。

以上